

元気いっぱい !!

 日本赤十字社医療センター附属乳児院
Home for Infants, Japanese Red Cross Medical Center



〒150-0012
東京都渋谷区広尾4丁目1番1号
Tel 03-3400-0147 (代) 03-3400-1311
<http://www.med.jrc.or.jp/nyuji-in/index.html>

理念
私たちは、「人道・博愛」の赤十字精神を行動の原点として、子どもの最善の利益を守り、心身ともに健やかに成長できる保育看護を提供します。
私たちは、家族に寄り添い、地域との連携をはかり、親子関係の構築を支援します。

～新たな気持ちで～

看護師長 渡辺 美奈

初めまして！4月より長年勤めていた病院(武蔵野赤十字病院、日本赤十字社医療センター)より当院へ異動となりました、看護師長の渡辺です。子どもたちと関わるのは暫くぶり、毎日明るい笑顔に励まされています。

5月からは、令和元年がスタートし、当乳児院にも、令和元年生まれの子どもたちが続々と仲間入りしています。改元にあたっては、書類の書き換えや事務手続きなどで、ちょっとだけ慌ただしい気分と、反面、つかの間ですが、年度の途中で新年を迎える嬉しさが入り混じった気分を味わいました。子どもたちにとっては、全く無関係でいつも通りの時間だったことと思います。

平成では大きな自然災害をいくつも体験し、「史上初」という言葉とともに、記憶に残る出来事がたくさんありました。これからの時代も少子超高齢化は進み、ますます厳しく複雑な社会になることが予測されます。

しかし、いつの時代も子供たちひとり一人はみんな同じで、大切な尊い命です。グローバルな世界を生き抜く子どもたちを育み、支援していくのが赤十字の乳児院の役割と信じ、気持ちを新たに頑張っていきたいと思っています。これからも引き続きご支援、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



夏の水分補給

看護師 久保

子どもの体に占める水分量はとても高く、新陳代謝も良いのでたくさんの汗をかきます。一日に必要なとする水分量は、体重1kg当たり幼児で90～100ml、乳児で120ml～150mlとされています。一度に大量の水分を摂ると体の中で電解質量のバランスを崩し、不調を引き起こす原因にもなるので、こまめに摂ることが大切です。

夏の水分補給には水や、当院では麦茶を飲んでいますが、ミネラル豊富なルイボスティーも適しています。糖分の多いジュースやカフェインの含まれるお茶などは控えるようにしましょう。





乳児部の食育



保育士 徳田

5月29・30日で、お買い物と食育を行いました。今回の献立は、春野菜の中華スープ・グリーンピースとシラスの炒飯です。29日は子供たちと担当職員で日赤通り商店街に行きました。子どもたちは買った商品を大事そうに持ってくれました。30日は、お手伝いが出来る子は、野菜の皮むき、刻む作業、卵を割るなど沢山お手伝いをしてくれました。中華スープはこあら室で、炒飯はうさぎ室で調理し、みんなで出来上がるまでを見学しました。部屋中に美味しそうな香りがして、子どもたちは「まんま！」と言いながら、出来上がるのを楽しそうに待っていました。出来立てをみんなで頂くと夢中で食べて、あっという間に食べ終わってしまい、子どもたちにとって、とても楽しい時間となりました。また、このような機会を作って行きたいと思いました。

ドックセラピーの紹介

保育士 鈴木

「ドックセラピー」として平成22年からのフレンド・ワンさんとの交流も、9年が経ちました。初めは、同じ空間に居て触れ合うだけでしたが、今ではリードを引いてのお散歩や歯磨きの見学、子ども達だけでなく職員も楽しみながら色々な体験をさせて頂いています。



はじめまして！（新入職員の紹介）



素敵な仲間が増えました！皆様、よろしくお願いします。

左写真より

左上から小坂(事務)・石川(里親交流支援員)・藤村(保育士)

・渡辺(看護師長)

左下から、北川(保育士)・平林(看護師)・

水谷(保育士)

右写真 富田(事務長)



編集後記



これから暑い夏を迎えます。暑さに負けず“元気いっぱい”頑張りましょう！